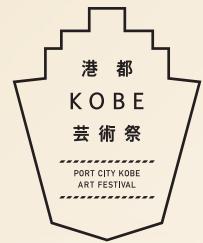


神戸開港150年記念・港都KOBE芸術祭連携事業

# 「神戸開港150年の歴史を辿る」



今年、神戸市は開港150年を迎えました。開港以来、神戸は港から「人・もの・情報」を受け入れ、独自の開放的で明るいハイカラな文化風土を育んできました。そして、ジャズ、コーヒーや映画、バナナなど、様々なものを発信してきました。そんな神戸の歴史・文化について、フォーラムを開催します。神戸創業「鈴木商店」女主人の一代記『お家さん』の著者 玉岡かおる氏による講演と、講演後は、アート鑑賞船に乗船し、今秋開催の「神戸開港150年記念 港都(こうと)KOBE芸術祭」の作品を海から鑑賞します。

開港150年を迎えた神戸で「芸術・文化の秋」を過ごしてみませんか?

**日 時 平成29年10月3日(火) 13:00~16:00**

**会 場 神戸海洋博物館大ホール、神戸港**

(神戸市中央区波止場町2-2 メリケンパーク内)

**定 員 150名 (事前申込制・応募者多数の場合は抽選) 参加無料**

往復はがきで申込(最大2名まで) 締め切り 9月15日(金) 必着

【必要事項】 ●参加希望者全員のお名前(ふりがな) ●年齢 ●郵便番号・住所 ●電話番号  
●手話通訳をご希望の方は、申込時に明記ください。

※応募者多数の場合、講演会のみの参加枠を追加予定

※宛先は裏面下をご覧ください。

オープニング  
13:00~13:15

神戸市室内合奏団・神戸市混声合唱団による演奏

第1部  
13:15~14:30

講演会 講師:玉岡かおる氏(小説家) テーマ:「神戸から吹いた貿易風」



プロフィール

●兵庫県三木市生まれ。神戸女学院大学卒業。 ●1987年神戸文学賞受賞の『夢食い魚のブルーグッドバイ』(新潮社)で文壇デビュー。  
●著書多数の中、(1)幻の名画コレクションに材を取った『天涯の船』をはじめ、(2)巨大商社・鈴木商店の女主人の一代記『お家さん』、  
(3)生野銀山を舞台に国家と人間の近代化を描いた『銀のみち一条』(いずれも新潮社)は、「明治三部作」として反響を呼んでいる。  
●話題作『お家さん』では、第25回織田作之助賞を受賞。 ●近著には『天平の女帝 孝謙称徳』(新潮社)、『ウエディングドレス』(幻冬舎)  
がある。●大阪芸術大学教授、兵庫県教育委員、(社)日本河川協会理事、兵庫県美術館運営会議委員、神戸市民文化振興財団評議員など  
行政の委員を数多く務める。 ●兵庫県加古川市在住。 ●2000年/加古川市特別文化賞受賞。2006年/兵庫県文化賞受賞。2014年/  
第49回加古川市功労者表彰受賞。2015年/神戸市文化賞受賞。2016年/第1回大阪サクヤヒメ表彰 特別賞受賞。

第2部  
15:00~16:00

こうと  
港都KOBE芸術祭 (船上からの作品鑑賞)



### 神戸市室内合奏団

1981年設立。バロックから近現代までの幅広いレパートリーのほか、埋もれた興味深い作品にも意欲的に取り組み、質の高いアンサンブル活動を展開。1998年、ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎え、飛躍的な発展を遂げる。2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引する岡山潔が音楽監督に就任し、更なる音楽的発展を目指し、新たな活動を展開している。



### 神戸市混声合唱団

1989年、神戸市により設立された日本を代表するプロフェッショナル合唱団。神戸を拠点に童謡・唱歌、日本歌曲、外国歌曲、オペラ、シャンソンまで豊富なレパートリーを有し、市民の身近な合唱団として『音楽のまち神戸』推進に大きな役割を果たしている。澄みきった密度の高い合唱は、美しい神戸ハーモニーとして高い評価を得ている。



神戸シーバス ファンタジー号



港都KOBE芸術祭について詳しくはこちらへ  
<http://www.kobe-artfes.jp/>



＜風の回廊＞  
井上廣子+井上凱彦建築計画事務所



＜ウィンドキャラバン＞新宮晋



＜風になるとき 2017＞<そのむこう>西野康造

会期 2017年(平成29年)

9月16日(土)～10月15日(日) (30日間)

会場 神戸港、神戸空港島

※有料会場はありません。

アート鑑賞船は乗船料が必要です。

申し込み

〒650-8570(住所不要) 神戸市市民参画推進局文化交流課「フォーラム係」

問い合わせ

神戸市イベント案内・申込センター TEL 078-333-3372